

平成30年度 こども園・ひかりのこ さっぽろ 自己評価結果(後期)

※A・B・Cの3段階評価によるものです。A…できた B…少しはできた C…まだできていない
 ※結果の割合は、小数点第2位を四捨五入しております。(多少の誤差があります)

評価項目	評価結果		
	A	B	C
<p>《基本項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の基本を理解し、園の理念や方針に基づいて指導計画を立てている。 ・自分自身の保育の課題を認識し、改善しながら専門性を高めている。 	45.1%	47.6%	7.3%
<p><現状・改善案> 現状→● 改善案→◎</p> <p>●専門性の向上や仕事への姿勢に積極性が欠けるという記述がある。 ◎来年度は新任保育教諭が多く入り、立場も変わって来るため、先輩保育教諭として、積極的・主体的に取り組むことができるような、環境や役割分担、研修内容などを設定していく。</p> <p>●専門性を高める意識が前期に比べ向上しており、評価も上がっている。 ◎とてもいい傾向であるため、継続していくと共に、実際に保育・教育に生かしていくことができるよう、得た知識などを職員間で共有しながら、スキルアップを図る。</p> <p>●クラスリーダー全員が保育の基本を理解し、専門性を高めようと努力している。 ◎実践に関しては、あと1歩のところまでできていると思うので、100%目指して保育・教育に 望んでいく。</p> <p>●専門性に関しては、得意なことを高め保育・教育に生かすことができているが、苦手な分野に関しても、前向きに高めていきたいという記述があった。 ◎来年度はキャリアアップの研修にも積極的に参加し、それぞれ学んだ内容を共有していくことで、1人1人、そして職員全体のキャリアアップに努める。</p>			
<p>《子どもとのかかわり》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに寄り添って、かかわったり、発達を促している。 ・園児が安心して活動を行えるように雰囲気を作り、丁寧な言葉遣い等を配りながら、かかわっている。 	49.6%	47.1%	3.3%
<p><現状・改善案> 現状→● 改善案→◎</p> <p>●評価はまだ十分ではないが、子ども1人1人の性格や発達を理解し、それぞれに合った声掛けや対応を心掛けようとする意識がある。 ◎とても大事なことなど、引き続きその意識を保つことができるよう、周知していく。 また、具体的な関わり方や方法について、クラス内で話し合うことができるよう、打ち合わせ時間の充実を図る。</p> <p>●気持ちが焦ったりすることで、時折口調が雑になったり、丁寧さに欠ける場面があるという記述があった。 ◎安心してゆったりと関わる事ができるような雰囲気を大切にする。</p> <p>●全体的に前期に比べ、評価が向上している項目が多い。だが経験年数が3～4年の保育教諭が多く、今までの関わりを経て、さらに新たな課題と向き合っているようにも感じる。1人1人に合った保育・教育を心掛けてはいるものの、その関わりが適切であったか、1人1人に寄り添っていたか、という点では反省や自信のなさが残る。という記述が多い。 ◎1人1人成長・発達には異なり、保育教諭によっても考え方や捉え方は異なってくるため、正解はなく難しいことではある。子ども1人1人に対してどのような関わり方が今、最も適切であるのか、職員間でもっと話し合い、全員で連携しながら、理解を深めていく必要がある。</p> <p>●障がいをもっていたり、集団の活動への興味が薄い子に対する関わり方を悩む意見が多い。 ◎クラスリーダーや担当だけが抱え込むのではなく、様々な視点からの意見をもらい、園全体で話し合っていけるような場を作っていくことができれば良いと感じる。</p>			

《乳幼児教育》

- ・子ども一人ひとりの主体性を大切に、遊びからの学びに繋げている。
- ・様々な活動や物に興味、関心が持てるようにし、イメージを膨らませて、意欲的に活動できるようにしている。

32.1%

58.0%

8.0%

<現状・改善案> 現状→● 改善案→◎

●まだまだ十分には取り組めていないという傾向である。だがCの評価はほとんどなく、乳幼児教育に向けて、前向きな姿勢が見受けられる。

◎絵本の読み聞かせに関する記述があり、ひかりのこシアターの内容もどんどん充実してきているので、その時間をきっかけとし、日々の保育・教育でも五感を刺激できるような遊びを工夫していく。

●自然との触れ合いを大切にしようとする意識が高まっている。乳児クラスでは季節のお楽しみ会で季節毎、その自然に親しむ機会があったが、その場面だけでなく、日々の保育の中でも、積極的に取り入れていきたかったという意見もあった。

◎毎年とても楽しくお楽しみ会に参加してくれているので、その雰囲気や内容を大事にしながらも、普段の何気ない日々の中で、より五感を刺激できるような関わりを工夫していく。

●幼児クラスのスポーツタイムでの関わり方、指導法を学び、実践できているが、まだ足りていないところもあるとの記述があった。

◎幼児教育全体的に、質の向上に努め、来年度以降もより良い保育・教育ができるようにしていく。

●異年齢交流に関しては、充実できたという記述とあまり交流の機会を作れなかったという記述、どちらの意見も多くあった。

◎良い点であっても、反省点であっても多くの記述があったということは、職員の意識が高いということである。その傾向は良いことであるが、どのような形で交流を図っていくのか、こまっている様子もあるので、経験のある保育教諭が様々な方法を示しながら、考えていく。

●ひかりのこシアター・季節のお楽しみ会・スポーツタイムに関する記述が多い。

◎こども園以降より3年が経過し、内容も変化してきているので、その都度良い点・反省点を話し合う機会をもっと充実させ、より密度の濃いひかりのこ乳幼児教育を創り上げていく。

《保育環境》

- ・園内の環境を常に整え、安全に過ごせる環境作りを心掛けている。
- ・安全に配慮しつつ、清潔にも心掛けていく。
- ・子どもの動きを把握できるような職員配置を心掛けていく。

43.0%

47.1%

9.9%

<現状・改善案> 現状→● 改善案→◎

●遊びを見守るだけでなく、子どもたちの遊び発展し、より広がっていくような環境作りに努めたいという意見があった。

◎子どもたちが主体的に遊び込めるような環境作りは、園全体の課題でもあるので、園内研修などで話し合っていける機会を作り、積極的に取り組んでいく。

●清潔を保つことの意識はできている。

◎用務員・保育補助の職員と共に、この意識を継続していけるようにし、保育環境が快適になるように努める。

●玩具消毒が毎週土曜の1回になってしまっていることが多い。特に頻繁に使う玩具や感染症の流行る時期にはクラス内で時間を見つけ、細目に行うべきであったという記述が多い。

◎その意識はとても大切なことである。毎日子どもたちが手にとるものなので、安全に清潔に遊ぶことができるよう、保育教諭同士声を掛け合いながら、丁寧な玩具消毒・点検に努める。

●各部屋に加湿器を配置し、場合によって2台置いたり、空気清浄機を併設しているものの、湿度が十分に保てていないことが多い。午睡明けは50～60%になるものの、普段は30%前後である。

◎現在も行っているが、濡れタオルを干すなど工夫し、気持ちよく快適に過ごすことができる環境を作っていく。

●乳児クラスを中心に子どもたちが主体的に遊び込むことができるような、玩具や棚の配置に悩む記述がある。安全面の配慮と子どもたちの興味をどちらも大事にしたいが、難しく感じている。

◎年齢や子どもたちの興味によって玩具の配置はかわってくるので、様々な年度の配置を参考にしながら、より子どもたちの遊びが主体的に展開されていくような保育環境を話し合っていく。

●災害時の対策については、今年度の大地震を経験し、前期同様更に意識が高まり、子どもたちの避難誘導も適切に行うことができている。職員配置に関する評価も高い。

◎災害時には、職員の連携がとても大事になる。クラス内外で声を掛け合い、安全に適切に避難できるよう努めることができているので、今後もその意識を大事に、様々な展開で避難訓練を実施していく。

《保護者の方とのかかわり》

- ・ご家庭と協力して、育ちの過程を伝えあったり、子育てに努めている。
- ・苦情や要望には謙虚に耳を傾け、対応している。

54.4%

42.1%

3.5%

<現状・改善案> 現状→● 改善案→◎

●前期に比べ、連絡ノートや送迎時のやり取りを通して、信頼関係が築け、話す機会を増やすことができたという記述がある。また評価全体も前期に比べ、向上している。

◎それぞれが意識的に保護者とかかわりを持つことができていたので、継続できるようにしていく。

●謙虚な姿勢・丁寧な言葉遣いで保護者が対応できている。

◎今後も謙虚さを忘れずに、信頼関係を深めていく。

●保護者への挨拶・言葉遣いなど誠意ある対応を心掛けている。

◎来年度は新任保育教諭も多いため、手本となり適切な指導ができるよう、全員で引き続き継続していく。

●生活リズムに関しては、各家庭の意向や考えもあり、どのように子育てに努めていくべきか悩んでいる保育教諭も多くいた。(乳児の仮眠時間・生活習慣・登園時間など)

◎各家庭での様子を尋ね、家庭環境や保護者の思いなどを共有しながら、信頼関係を深めていく。その上で、1人1人の子どもたちが安心して、楽しく、気持ちよく過ごせるような生活リズムを共に考えていく。

《職員間の連携・かかわり》

- ・上司、先輩、同僚の言葉を素直に受け止め、報告、連絡、相談を欠かさないよう心掛けている。
- ・互いの状況や役割を理解し、協力や援助をし合い、力を合わせている。

48.5%

41.4%

10.1%

<現状・改善案> 現状→● 改善案→◎

●良好な職員関係を築くことができ、職員の言葉も素直に受け止めることができている。

◎継続することはもちろん、次の新任保育教諭とも良好な関係を築いていく。

●保育中の連携不足を課題としている記述があった。

◎やむを得ない場合もあるが、声を掛け合うことで防ぐことのできた怪我などもあったと思うので、連携の大切さを今一度職員間で再認識していき、もっと密に声を掛け合う必要がある。

●報告・連絡・相談を心掛けており、小さな出来事や様子も細目に伝え合う努力をしている。

◎来年度はデータの共有を図り、クラス内外の計画や活動を共有することができるようになるので、これまで以上に円滑に連携を図っていけるよう、コミュニケーションを大事にする。

●自分の仕事以外のことであっても、協力をしたい、力になりたい、という思いは強く、そのような前向きな記述も多い。だが、実際には自分の仕事で余裕がなくなり、なかなか手を貸すことができていないという現状である。

◎協力し合うことは大切なことであり、その意識を継続する。特に行事などでは、声を掛け合い、協力しやすくなるような係分担や職員配置を行い、より一層よいものを創り上げていく。

●クラス内では互いの考えを話し合えるような雰囲気をつくることが出来たり、仕事を振り分けることができていた。だがクラス外になると、他クラスとの連携に欠けていたという記述もあった。

◎クラスの特徴も大事だが、同じ方針の元、同じこども園で過ごしているので、クラス同士の連携や協力も大事であるという意見があり、来年度の課題になってくる。データ共有や職員会議の充実を図りながらも、日ごろからもっと声を掛け合っていく意識を職員全体で持っていく。

●他の保育教諭が参加した研修内容を知りたい。

◎研修報告の機会が減ってきているので、園内研修の内容を考え直す。

<p>《朝・夕の合同保育》</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝の受け入れ時や降園時等、保護者の方が安心できるように受け入れや対応をしている。 クラス担当以外の子どもの成長や性格なども把握し、合同保育に望んでいる。 	66.7%	29.0%	4.3%
<p><現状・改善案> 現状→● 改善案→◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ●朝の受け入れに関する項目では、評価が高く、保護者の皆様が安心して預けられるような対応を心掛けることができています。 ●担当外の子どもの把握という点では、まだ難しいようである。 ◎新年度はクラスが変わり、様々な子どもの変化が予想されるので、これまで以上に情報を共有できるような努力や体制づくりを職員全体で行っていく。 ●小さなことであっても引き継ぎ、責任をもって受け入れ、保育することができている。 ◎朝夕は子どもたちの様子も落ち着かない場面があり、責任をもって今後も保育にあたる。 ●責任をもって保育することができており、アレルギー児の確認や朝の受け入れも丁寧に行うことができています。 ◎個人の評価は高いが、クラスリーダーとして、それらをもっとクラス全体に周知していく。 			
<p>《地域との連携》</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域と連携していく事の大切さを理解し、互いに親しみを持てるように心掛けている。 地域の方々に心のある挨拶や会話をし、交流に繋げられるようにしている。 	62.5%	37.5%	0.0%
<p><現状・改善案> 現状→● 改善案→◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交流を深めていきたいという前向きな記述は多いものの、具体的な意見は少ない。 ◎乳児クラスはなかなか交流の機会も少ないため、難しく感じているようである。まずは地域交流の目的や大切さを新任保育教諭が理解する必要がある。 ●交流の機会は少なかったが、子どもたちから自主的に挨拶をしたり、公園を共に使用する時には、譲り合うことができたりと、地域交流の大切さを感じている記述が多い。 ◎園庭の雪遊び中に、道路に雪玉を投げってしまったことがあり、気をつけていきたい。 ●災害を体験し、地域との連携の大切さを再認識したという記述があった。 ◎園として決められた交流だけでなく、より良い関係性を築けるよう、更に意欲的に考えていく。 			
<p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> 雑用や係の仕事も率先して行っている。 各行事に対して意欲的に取り組んでいる。 	43.5%	46.3%	10.2%
<p><現状・改善案> 現状→● 改善案→◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電話対応や来客対応の評価が前期に比べ向上している。 ◎経験を積むにつれて、慣れたことやできることが増えているのと共に、新たな気づきや課題も出てきているのだと思う。職員会議でより保育教諭同士が自由に話し合うことができるような方法を考え、1つ1つの行事の反省などを丁寧に行っていく。 ●実習生の担当となった保育教諭も多く、丁寧な対応や指導を心掛けることができた。 ◎実習生への指導や新任保育教諭への指導はとても大事な役割なので、今後も心ある指導を行う。 また新任保育教諭に対しても、クラス保育の内容だけでなく、電話対応や雑用、行事の準備など、様々な業務を指導していく。 			